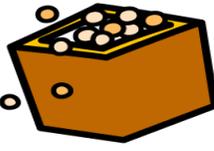




にじいろ

栗生小学校 2年
学年通信 No.24
令和6年2月26日



戸田先生 お世話になりました！！

この1年間、出張の際に戸田先生が2年生の授業を担当してくださっていました。先日、最後の日を迎え、お別れ会を行いました。これまでの授業を振り返り、楽しかったことや面白かったことなどを、手紙に書いて、子どもたちが折り紙で作ったプレゼントとともに渡しました。どうしたら感謝を伝えられるか、驚いてもらえるかを子どもたちが積極的に考えた会になり、戸田先生も涙ぐむ様子も見られたようです。戸田先生、ありがとうございました。



がんばった なわとび大会！

先日、長縄跳び大会がありました。子どもたちは、この大会に向けて、朝の時間を使って練習を重ねてきました。「頑張りたい。」という気持ちが強く、昨年度の8の字跳びの掲示を見て目標回数の参考にしたり、跳ぶ順番もどうすればスムーズに跳べるかをみんなで考えたりしてきました。それだけではなく、子どもたちは、練習の中で、4分間という時間制限に「速く跳ぼう。」ということだけでは、みんなが楽しく勇気を出して跳べないということに気付き、引っかかっても「いいよ。」や「つぎとべるよ。」など、前向きな声掛けも見られるようになり、みんなで協力して取り組むことができた長縄跳び大会になりました。



<子どもたちの日記>

戸田先生とさいごのじゅぎょうでした。その中で一番の思い出は、図工で「つないでつるして」をやったことです。図工でこの勉強をした時に、戸田先生がほめてくれたことをおぼえています。うれしかったです。

わたしが分からないときにやさしく教えてくれてうれしかったです。戸田先生の読み方のおもしろくて、大すきです。三年生になってもまたきてほしいです。

わたしが、大なわ大会でがんばったことは二つあります。一つ目は、かけ声です。理由は、友だちがひっかかっても、「おいしい。」や「どんまい。」などのかけ声をする、あきらめずにリズムをとってがんばっている友だちもいたからです。二つ目は、気もちです。理由は、大なわには、とぶゆう気がいります。はじめからふあんな気もちだと本当に新きろくをだせなくなるから、はじまる前から、「よし、がんばろう。」というゆう気を出すとぶと、みんなのやくに立てるからです。

ぼくがなわとび大会でがんばったことは、れんぞくでとぶことです。それができました。そして、うれしかったことは、最高記録をこえたことです。また、いっせいとびでがんばったことは、引っかからないようにすることです。六十三回とべたのでうれしかったです。

わたしががんばったことはなわとび大会です。れんしゅうのときの記ろくは、百七十回だったけれど、れんしゅうしてきたせいかをみんなで出して、本番は、百七十二回とぶことができました。

